

事例 No.	68	人口規模	10万人以上	地域ブロック	東海	事業タイプ		拠点整備		事業主体	その他
事業名	サタバパサロン事業										
実施地方公共団体名	大垣市(岐阜県)										
特徴・ポイント	乳幼児を持つ父親を対象にした子育てサロンで、毎回開設時間内に講師を招き「父親のための子育て講座」を開催している。講座はふれあい体操、工作、絵本の読み聞かせなど、父と子が一緒に取組める内容になっている。 また、父親が参加しやすいよう土曜日・日曜日に開催している。										
事業のねらいと内容	<p>【ねらい】 母親の子育ての負担感の軽減と父親の子育て参加を促進するため「父親のための土曜(日曜)子育てサロン(サタバパサロン)」を開催し、父親と母親が協力して子育てをする環境を整備する。 また、ボランティア地域住民(子育てコーディネーター・子育てコンサルタント)を活用することにより、地域による子育て支援を目指している。</p> <p>【内容】 市内3カ所にて開催(赤坂地区・西地区・三城地区) ・遊び場の提供や遊びのコーナーの設置 ・子育て支援コーディネーター(1名)やコンサルタント(4名)の配置 ・父親のための子育て講座(10時45分～11時30分)ふれあい体操、絵本の読み聞かせ、工作など</p>										
導入・実施の背景・経緯 (事業の必要性)	<p>核家族化が進み、育児ストレスなどによる児童虐待が社会問題になる中、「父性不在」になりがちな育児に父親が参加するきっかけを何か作ろう、また、子どもが成長してから、父親が変わろうと思っても難しい、子どもにどう接すればいいかわからないという父親も多く、幼いころから触れ合えば自然に子どもと接することができ、母親の悩みも解消されるのではないかという考えから始まった。 平成14年1月から3月に試行したところ好評であったため平成15年度からは会場を1か所増設、土曜日に参加できないお父さんのために第2日曜日又は第3日曜日(1月～3月計3回)の開催とした。</p>					導入・実施に際して苦労した点					
事業の効果	<p>【住民の反響】 平日に遊ぶことが少ないのでこのような機会を大切に参加したい。このような活動が広まるといいと思う。 など 【事業の効果】 日頃、仕事中心の父親が子育てに参加する機会となる。父親が子育ての楽しさを実感でき、子育てを学ぶ機会となる。父親とのスキンシップにより子どもの健全育成が図られる。父親と母親が協力して子育てする環境が整備される。継続実施することにより、リピーター同士の交流が生まれる。当事業は平成14年度に岐阜県が実施した「子育て支援コンクール」において、最優秀賞を受賞している。</p>					<p>開催箇所数・日数・時間・子育て講座の内容等について、どのようにすればお父さんが参加しやすいかなどの検討。</p>					
事業のアピールをどのように行ったか	<p>市の広報、ホームページ、チラシ、子育て情報誌への掲載、マスコミへの資料提供(新聞社・岐阜放送・大垣ケーブルテレビ・岐阜ラジオ)など。</p>					実施にあたってのネックをどのように解決したか					
必要な協力先・実施主体とその確保策	<p>(必要な協力先) ボランティア地域住民(子育て支援コーディネーター、子育てコンサルタント) (確保策) 市の広報による募集、ボランティアさんからの紹介</p>					<p>ボランティア人材の確保 本事業とは別に平日に開催している子育てサロンのボランティアを活用した。</p>					
概算事業費 (千円/年度) 平成18年度予算	<p>190千円 (一般会計のみ)</p>					問い合わせ先		<p>所属部署: 大垣市役所子育て支援課 TEL: 0584-81-4111 FAX: 0584-82-2912</p>			